

2026/04/06

2026年度秋季大会オーガナイズドセッション  
「日本の造船業」  
ご提案について

日本設計工学会 四国支部

本オーガナイズドセッション「日本の造船業」は、我が国が現在力を入れて進めている造船業再生の国家的取組を背景に、設計工学の視点からその課題と将来像を議論する場として設置するものである。

政府は2035年までに船舶建造量の倍増を目標に掲げ、AI・ロボット導入による生産性向上、人材育成、船舶の脱炭素化を三本柱とした施策を推進している。加えて、造船業は経済成長のみならず、海上輸送やエネルギー供給を支える基盤産業として国家安全保障上も重要な位置付けにあり、「造船業再生ロードマップ」に基づく官民連携投資が本格化している。一方、現場では熟練技術者の減少や技術継承、次世代燃料船の設計手法の確立、設計・生産プロセスの高度化といった設計工学的課題が顕在化している。

本セッションでは、人材育成の取組や脱炭素船舶（アンモニア燃料船等）の設計・開発動向を含め、政策、産業、教育を結ぶ設計工学の役割を明確化し、日本の造船業が世界をリードし続けるための学術的・実践的知見の共有と議論を促進することを趣旨とする。

【参考】

国土交通省一造船ワーキンググループ  
構成員等名簿（敬称略、順不同）

【構成員】

金子 恭之 国土交通大臣（座長）  
小野田 紀美 内閣府特命担当大臣（経済安全保障）（座長）  
村山 英晶 東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授（副座長）  
大橋 弘 東京大学大学院経済学研究科教授  
鎌倉 夏来 東京大学大学院総合文化研究科地域未来社会連携研究機構准教授  
清水 悦郎 東京海洋大学海洋工学部海洋電子機械工学科教授  
鈴木 一人 東京大学公共政策大学院教授  
二村 真理子 東京女子大学現代教養学部経済経営学科教授  
吉本 陽子 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 主席研究員

本部の方の中で上記の方々に知己をお持ちの方がいらっしゃれば、ご講演の依頼をお願いしたいと考えております。

以上